
梅雨もどきの季節

桜あずき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

梅雨もどきの季節

【コード】

N1206M

【作者名】

桜あずき

【あらすじ】

優しすぎて、冷たかった…

(前書き)

梅雨期集中制作週間4作目です。
6月19日(土曜日)分です

「梅雨もどき」

梅雨もどきの季節が訪れて、
また憂鬱を僕にくれる

「湿りきつた心など
すべて晴らして欲しい、」と
外に出れば急な雨で
もどかしさは続く

湿っぽさが首に纏わりつき、離れない
ふと、空を見上げた
落ちる水は冷たかった

歩んできた道は
時化ってしまい 通れぬ道
僕はまた立ち尽くす日々を過ごす。

季節は巡り、時は変わる
戻れない日々に、唇を噛んだ

紫陽花は酸性色に染まる
花すら時と共に変わるのか

「纏わりつく^へ思い出など

洗い流して欲しい、」と
傘を離せば狐雨で
もどかしさは続く

人恋しさが首に纏わりつき、離れない
ふと、思い返した
優しすぎて、冷たかった

人肌に触れてしまえば、
依存し、壊れてしまうから
僕はまた差し出す傘を振り払う

季節は巡り、人も変わる
変わらない僕は、人ではないのか・・・？

ここから一步踏み出せば、
また何か失う気がして
僕は雨空を見上げ涙を隠す

季節は巡り、雨は続く
このまま雫と消えればいいのに・・・

梅雨になれぬ季節と
大人になりきれない僕を
照らし合わせて過ごす、今年もまた

続く雨も、いつか晴れる
戻れぬ日々には、サヨナラしなくては・・・

君がなれぬ季節が訪れる

しばらくは雨に濡れていよう

(後書き)

時期的には5月～6月始め。

ウチの地方は梅雨入りまだみたいですが… (^ - ^) ;

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1206m/>

梅雨もどきの季節

2011年10月6日20時46分発行